

# 発展・活用学習シート

## 《解答》

### 第3単元 わり算の筆算(1)

問題番号	解 答
①	① 式は、 <u>4</u> つできる。 $6 \times 2 = 12$ 、 $4 \times 3 = 12$ 、 $3 \times 4 = 12$ 、 $2 \times 6 = 12$ (式の順序は自由)
②	② 式は、 <u>6</u> つできる。 $84 \times 1 = 84$ 、 $42 \times 2 = 84$ 、 $28 \times 3 = 84$ 、 $21 \times 4 = 84$ 、 $14 \times 6 = 84$ 、 $12 \times 7 = 84$ (式の順序は自由)
③	③ 式は、 <u>6</u> つできる。 $72 \times 2 = 144$ 、 $48 \times 3 = 144$ 、 $36 \times 4 = 144$ 、 $24 \times 6 = 144$ 、 $18 \times 8 = 144$ 、 $16 \times 9 = 144$ (式の順序は自由)
④	④ 式は、 <u>4</u> つできる。 $500 \times 2 = 1000$ 、 $250 \times 4 = 1000$ 、 $200 \times 5 = 1000$ 、 $125 \times 8 = 1000$ (式の順序は自由)

### 第6単元 わり算の筆算(2)―1

問題番号	解 答(許容)
①	にんじん1本、じゃがいも2こ、 たまねぎ1こ、ぶた肉200g (他に、「にんじん1本、じゃがいも1こ、たまねぎ5こ、とり肉170g」や、「にんじん1本、じゃがいも2こ、たまねぎ5こ、とり肉130g」も可とするが、材料のバランスに偏りがみられるため、別の答えも考えさせるようにしたい。 ※上記の他に、おつりが出るような買い方でも材料がバランスよく買えていれば許容とし、別の答えもあることを知らせるようにする。

### 第6単元 わり算の筆算(2)―2

問題番号	解 答
①	日本の除法の筆算のアルゴリズムに従って説明していれば可とする。 (例) ⑤ $32 - 28 = 4$ ⑥ 一の位の6をおろす。 ⑦ $46 \div 14$ で商は3がたつから、14の下の一の位に3を書く。 ⑧ $14 \times 3 = 42$ 42を46の下に書く。 ⑨ $46 - 42 = 4$ あまり4を書く。
②	日本の除法の筆算のアルゴリズムに従って説明していれば可とする。 (例) ② 百の位には商はたたない。 ③ $320 \div 14$ で商は20といくつかだから、わられる数の326の上に商20を書く。 ( $32 \div 14$ で商は十の位に2がたつ。これは $320 \div 14$ では20の意味なので、商20を書く。) ④ $14 \times 20 = 280$ 280を326の下に書く。 ( $14 \times 2 = 28$ 28は280の意味なので326の下に280を書く。) ⑤ $326 - 280 = 46$ ⑥ $46 \div 14$ で商は3がたつから、商20の上に商3を書く。 ⑦ $14 \times 3 = 42$ 42を46の下に書く。 ⑧ $46 - 42 = 4$ あまり4を書く。 ⑨ 商の20と3の和23をいちばん上に書く。